

## 令和7（2025）年度第2回学校給食共同調理場運営委員会 会議概要

1 日時 令和8（2026）年3月17日(火) 午後1時30分から午後3時00分

2 会場 柏崎市役所4階 4-3・4-4会議室

3 学校給食共同調理場運営委員 10名

1号委員 校長

田尻小学校長[会長] 北条中学校長[副会長] 剣野小学校長

2号委員 保護者であるPTA役員

柏崎小PTA副会長 第二中PTA会長 鏡が沖中PTA副会長

第三中PTA副会長 二田小PTA会長

3号委員 保健所長又は保健所長が指名する保健所職員

柏崎保健所地域保健課主任

4号委員 学識経験者

新潟県栄養士会柏崎支部選出者

【欠席者：第三中PTA副会長、二田小PTA会長】

※委員10名のうち過半数出席により成立

4 事務局 柏崎市教育委員会教育総務課 6名

教育総務課長（兼学校給食共同調理場長） 学校給食係長 学校給食係4名

5 共同調理場栄養士 8名

中央調理場2名 南部調理場1名 西部調理場1名

北部調理場2名 東部調理場1名 西山調理場1名

【欠席者：南部調理場1名、西部調理場1名、西山調理場1名】

6 報告事項

(1) 令和7（2025）年度学校給食事業の運営概要について

(2) 令和7（2025）年度学校給食の栄養摂取状況について

(3) 令和7（2025）年度栄養教諭等による食育の取組みについて

7 審議事項

(1) 令和8（2026）年度学校給食共同調理場の運営体制について ……承認

(2) 令和8（2026）年度学校給食共同調理場の稼働日について ……承認

(3) 令和8（2026）年度学校給食費について ……承認

(4) 令和8（2026）年度物資購入業者の指定について ……承認

## 7 質問事項

### (1) 報告事項（資料1～3）

- 1号委員：大雪等で給食の配送ができないときはどのように対応するのか。
- 事務局：市外事業者が配送してくる食材があるため、各調理場と連携しながら、ごはん等提供できるもので対応している。
- 3号委員：国が厳しめの栄養摂取基準を定めている中で、北部地区学校給食共同調理場が、塩分量を抑えているが、何か工夫していることがあるか。
- 調理場栄養士：出汁をしっかりと効かせることで、みそや食塩の使用量を減らしている。
- 1号委員：献立によって残食量が異なってくると思うが、どういった傾向があるか。
- 調理場栄養士：白ご飯、魚、和え物といった献立の時に残食量が多くなる。主菜が肉ではなく魚になると残食量が多くなる傾向がある。
- 3号委員：肥満傾向者への個別での食事指導は行っているのか。
- 事務局：個別での食事指導は行っていないが、全体的に食事に関する情報提供は行っている。また、肥満度が40%以上の者については小児生活習慣予防検診の受診を学校で促している。
- 2号委員：給食の時間が短くて食べられないことがあるか。
- 1号委員：給食の時間は各学校の裁量によるが、全体的に短い傾向にある。給食時間が終了しても、食べられるようにしている。また、給食を食べ終わらなければ休み時間にならないということはない。
- 1号委員：給食時間は確かに短いですが、前後の時間を調整して5分程度伸ばして残食を減らすようにしている。
- 1号委員：給食時間は準備時間を含めて45分である。新一年生は20分ぐらい食べる時間を確保しながらはじめ、今の段階では時間内に食べられるようになっている。コロナ化で前を向いて食べるようにしているので、以前よりも食べる時間が短くなっている。
- 2号委員：所属の中学校では給食当番によって盛る量が違っていたり、準備に時間がかったりする傾向がある。残食を減らすように盛りきるようにしているがそれを負担に感じている子供もいる。

### (2) 審議事項（資料4～7）

なし